

【報道資料】

2011年8月2日

テーラーメイドゴルフ株式会社

ディスタンス系とスピン系 2 種類の「XD」ボールが登場！ 人気のカラーボールも同時ラインナップ！

『XD ボール DISTANCE80』・『XD ボール SPIN50』 2011年9月より発売開始

テーラーメイドゴルフ株式会社(本社:東京都江東区/代表取締役社長:菱沼信夫)では、幅広いゴルファーから支持を得ている「XD ボール」に 2 種類のモデル新たにラインナップ。飛びを追求したディスタンス系 2 ピースボール『XD ボール DISTANCE80』とソフトな打感と優れたスピン性能を提供するスピン系 2 ピースボール『XD ボール SPIN50』を 2011 年 9 月より発売を開始します。

■『XD ボール DISTANCE80』とは

『XD ボール DISTANCE80』は飛距離重視のディスタンス系 2 ピースボールとして、スピード感と反発力、推進力に優れた「インパクト推進コア」(Impact Propulsion Core)を採用。優れた弾力性、耐久性を併せ持つ「アイオタン 69D カバー」に、空気抵抗を抑制し、オフセンターヒット時の飛距離ロスを軽減するテーラーメイド独自の「ハイリフトディンプルパターン」を融合したことで、手ごたえのある柔らかさで弾き感を向上、高い直進性を実現しました。また、コース上での視認性の高いオレンジ、イエローの 2 つのカラーも数量限定でラインナップ。より遠くへ飛ばしたいゴルファーに向けて、スピーディで大きな飛距離を提供します。



YELLOW BALL



ORANGE BALL

■『XD ボール SPIN50』とは

『XD ボール SPIN50』のコア部分には、非常に柔らかいコアでありながら優れた反発力を持つ「リアクトコア」を採用。大きめに設計されたコアが推進力向上に貢献します。さらに優れた柔軟性と弾力性、耐久性を兼ね備えた「アイオタン 57D カバー」には『XD ボール DISTANCE80』と同様に「ハイリフトディンプルパターン」を採用。薄めに設計されたカバーがスピン性能向上を促し、ショートゲームでの高い操作性を実現。トータルバランスを重視するゴルファーに向けて柔らかい打感と優れたコントロール性能を提供します。

XD
SPIN50

飛距離重視タイプのディスタンス2ピースボール『XDボール DISTANCE80』とトータルバランス重視タイプの2ピースボール『XDボールSPIN50』では、リーズナブルでありながらもテーラーメイド独自のテクノロジーを搭載し、幅広いゴルファーにハイパフォーマンスな飛びを提供します。

『XD DISTANCE80 ボール』製品仕様

	『XD DISTANCE80 ボール』	『XD DISTANCE80 ORANGE ボール』	『XD DISTANCE80 YELLOW ボール』
ディンプル	【ディンプル数】 342 個 / 【テクノロジー】ハイリフトディンプルパターン		
ボール構造	2ピース		
コア	インパクト推進コア		
カバー	アイオタン 69D カバー		
コンプレッション	80		
カバーハードネス	69		

■Price(販売価格): オープンプライス

『XD SPIN50 ボール』製品仕様

	『XD SPIN50 ボール』
ディンプル	【ディンプル数】 342 個 / 【テクノロジー】ハイリフトディンプルパターン
ボール構造	2ピース
コア	リアクトコア
カバー	アイオタン 57D カバー
コンプレッション	57
カバーハードネス	57

■Price(販売価格): オープンプライス

【TaylorMade Golf Inc./ テーラーメイド ゴルフ株式会社について】

TaylorMade Golf Inc.(米国)は 1979 年の創立以来、最高品質のゴルフ用品を提供する世界のゴルフシーンにおけるリーディングカンパニーです。1998 年にはアディダスグループの完全子会社となり、「アディダスゴルフ」ブランドのフットウェアおよびアパレルを中心としたラインナップも展開。2009 年には「アシュワース」ブランドのアパレルを中心としたプロダクトの展開を開始。日本では 1986 年から事業を開始し、現在はテーラーメイド ゴルフ株式会社として「テーラーメイド」、「アディダスゴルフ」に加え、「アシュワース」ブランドを展開。ツアープロを始め、あらゆるゴルファーのニーズに応える幅広い製品を提供し続けています。

【アディダスグループについて】

アディダスグループはスポーツ用品業界をリードする世界的な企業です。同グループが抱える「アディダス」、「リーボック」、そして「テーラーメイド」を中心に幅広い製品を通して消費者のニーズに基づいた戦略的かつ相互補完的な発展を目指しています。